

令和6年度（2024年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史探究	学年	第3学年	類型	Ⅱ型文系
単位数	4単位	教科書	詳説 世界史（山川出版社）				
補助教材							

学習目標	社会的現象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジア諸帝国の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・モンゴル帝国解体後のアジア各地の状況について理解する。 ・明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 ・16世紀の東南アジアで台頭した新興勢力の共通点を理解する。 ・オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。 ・ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。 ・清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。 	中間考査
	5月	第11章 近世ヨーロッパの動向	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 ・それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 ・主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。 	
	6月	第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・海外貿易が近世ヨーロッパ経済の動向に与えた影響を理解する。 ・イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・北米大陸に建設されたヨーロッパ諸国の植民地の地理的分布とその推移を理解する。 ・ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。 ・領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	期末考査
	7月	第14章 アジア諸地域の動揺	<ul style="list-style-type: none"> ・オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。 ・清朝の危機の要因を多面的・多角的に考察し表現する。 	
2 学期	8月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動	<ul style="list-style-type: none"> ・新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。 ・帝国主義の支配を受けた地域における社会や文化の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・各列強が抱えていた国内事情とその課題を理解する。 ・列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。 ・列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 ・日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	中間考査
	9月			
	10月	第16章 第一次世界多難と世界の変容	<ul style="list-style-type: none"> ・バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。 ・歴史上はじめての世界大戦が勃発した原因を多面的・多角的に考察し表現する。 ・第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。 ・第一次世界大戦が東アジアの政治・経済・文化に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 	期末考査
	11月	第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ・ニューディール政策およびブロック経済の特徴や世界経済への影響を理解する。 ・開戦直前における各国のナチス＝ドイツへの対応を多面的・多角的に考察し表現する。 ・戦後国際秩序がいかなる構想のもとで形成されたのかを理解する。 	
12月	第18章 冷戦と第三世界の台頭	<ul style="list-style-type: none"> ・米ソそれぞれの同盟網の広がりや核開発競争の経緯を理解する。 		
3 学期	1月	19章 冷戦の終結と今日の世界	<ul style="list-style-type: none"> ・経済成長にともなう先進諸国の政策・社会の変化を多面的・多角的に考察し表現する。 ・1970年代後半から80年代前半において米ソがそれぞれ追求した対外政策の内容を理解する。 	学年末考査
	2月	自宅学習		
	3月			

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。 ・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査		